

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (H28)

法人名	有限会社吉野メディカル	代表者	小牧文夫	法人・事業所の特徴	・鹿児島市のほぼ中央に位置し、シティバスのルート上で史跡などが多く点在する地域に建てられている。住宅街の中にある複合型施設（コミュニティハウス上町）の2階に事業所が設けられ1階に認知症対応型デイサービス、3、4階に住宅型有料老人ホームがあり、それぞれに交流を持っている。
事業所名	多機能ホーム南洲の杜	管理者	宮崎佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	1人	1人	1人	1人	4人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・改善計画は優先順位をつけて実施する。	・優先順位をつけて取り組んだが不十分であった。		・改善計画は優先順位をつけて実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境				
C. 事業所と地域のかかわり	・継続して地域のイベントに積極的に参加し、交流を図る。	・校区運動会や文化祭などの行事に参加することはできている。今年度は秋祭りを初めて開催した。地域と協働しての取り組みがほとんどできていない。	・大竜としても夏祭りの企画がある。ジョイントできると面白いかもですね。	・今年度初めて開催した秋祭りを来年度以降も継続する。今年度以上に周知・広報を実施し地域の方々との交流を少しでも増やす。地域の方達が気兼ねなく来苑して頂けるような開かれた施設を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者様以外のご近所の心配な方など、共有できる内容などは運営推進会議などでも報告を行っていく。 ・近隣の地域資源の発掘に努め周知する。	・1人1人の地域の方達と接する機会が少なく直接話をしたりすることができていない。各利用者の地域まで含めると地域資源の発掘が不十分である。	・地域の中で1人暮らしの方がいらっしゃる場合など、南洲の杜を紹介する事もある(地域包括)	・地域の方と関わる機会が少ないためこれまで以上に地域に目を向け地域資源の発掘に努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・利用者様以外のご近所の心配な方など、共有できる内容などは運営推進会議などでも報告を行っていく。 ・介護職員が運営推進会議に参加する機会を作る。	・管理者やケアマネは会議に参加できているが他の職員の参加できていない。会議録での周知もまだ不十分である。		・介護職員が運営推進会議に参加する機会を作る。不参加者に対しての議事録等での周知を徹底する。
F. 事業所の防災・災害対策	・町内会総会へ代表者が出席し、施設の使用状況を知ってもらうと共に引き続き防災訓練への参加の働きかけを行う。 ・災害対応についての勉強会を最低年1回は必ず行う。	・管理者が町内会総会へ出席している。災害対応について年1回勉強会を実施している。	・F4について地域への支援は難しい。逆に手伝いが必要ではないか。・F4の文章の中では「頼りになる」とは地域から見ても、ここ(南洲の杜)から見てもなかが分りにくい。・耐震は良いだろうが、水、食料、電機は大丈夫か。水、食料は3日分貯蓄。自家発電はない。・災害が起こった際いと特に問題になる。	・災害対応についての勉強会を最低年1回は必ず行う。